令和９(2027)年度

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院

看護師特定行為研修

受講者募集要項



国家公務員共済組合連合会
虎の門病院
TORANOMON HOSPITAL

当研修機関における特定行為研修の基本理念

本研修を実施することで、地域医療及び高度医療の現場において、医療安全に配慮しつつ、特定行為に必要な専門的な知識及び技術を習得し、患者に対して適時に介入できる人材を育成し、社会貢献に寄与する。

特定行為研修修了者に期待するもの

専門的能力を高めた修了者には、さらに安全な医療の提供を目指す努力、人的資源の有効活用に寄与し、チーム医療の要として多職種と協働してより良い看護を目指すことを期待する。

Ⅰ．研修概要

1.　研修の目的・目標

目的

高度医療の臨床場面において知識・技術・態度の基礎的能力を身につけ、医師からの手順書による指示を基に特定行為の実施判断、実施、報告の一連の流れを行うための実践能力を身につける。

研修目標

1）　迅速かつ包括的なアセスメントを行い、当該特定行為を行う上での知識、技術及び態度の基礎的能力を身につけることができる。

2）　患者の安全に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実施できる基礎的能力を身につけることができる。

3）　問題解決にむけて、多職種と効果的に協働できる能力を身につけることができる。

2.　研修期間

令和 9（2027）年 4 月～令和 10（2028）年 3 月 31 日までの 1 年間

なお、在籍期間は最長 2 年間とする。

3.　研修科目及び定員

原則、1）～3）は 3 区分を合わせて受講するものとする。

科　　目		定員
共通科目		8 名
区分別科目	1)栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	4 名
	2)栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	4 名
	3)栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	4 名

	4)創傷管理関連	1 名
パッケージ研修：術中麻酔管理領域		3 名

4. 研修内容

研修は、共通して学ぶ「共通科目」と特定行為区分ごとに学ぶ「区分別科目」に分かれており、「共通科目」を履修後に「区分別科目」の受講を開始する。研修は、講義、演習又は実習によって行う。

1） 共通科目（必修科目）：

特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目

＜到達目標＞

① 多様な臨床場面において、迅速かつ包括的にアセスメントする能力を身につける。

② 多様な臨床場面において、必要な治療を理解し、ケアを導くための基本的な能力を身につける。

③ 患者の安全に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実践する能力を身につける。

④ 問題解決に向けて多職種と効果的に協働する能力を身につける。

⑤ 自らの看護実践を見直しつつ、標準化する能力を身につける。

科　目	研修時間（目安）　（単位：時間）				
	講義	演習	実習	評価	合計
臨床病態生理学	29	1		1	31
臨床推論	26.5	16	1	1.5	45
フィジカルアセスメント	17.5	8.5	13.5	5.5	45
臨床薬理学	32.5	11.5		1	45
疾病・臨床病態概論	37	3		1	41
医療安全学/特定行為実践	24.5	14	4.25	2.25	45
合　計	167	54	18.75	12.25	252

＊共通科目は e-ラーニングを中心とした講義を受講し、各科目の確認テストを行う。演習は関連する e-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たすことを確認する。実習は関連する講義・演習を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たすことを確認する。その後、科目修了試験に合格する必要がある。

2） 区分別科目（選択）： 各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目

＜到達目標＞

① 多様な臨床場面において、各区分の特定行為を行うための知識・技術及び態度の基礎的能力を身につける。

② 多様な臨床場面において、医師からの手順書による指示を受け、実施の可否の判断、実施及び報告の一連の流れを適切に行うための基礎的な実践能力を身につける。

(1)　区分別研修

＊臨地実習は、各行為 5 事例の症例介入が必要となる。

No.	区分	特定行為	研修時間（目安）
1	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去	7 時間 ＋ 臨地実習(5 症例)
2	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	末梢留置型中心静脈用カテーテルの挿入	8 時間 ＋ 臨地実習(5 症例)
3	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	16 時間 ＋ 臨地実習(5 症例)
		脱水症状に対する輸液による補正	
4	創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	34 時間 ＋ 臨地実習(5 症例)
		創傷に対する陰圧閉鎖療法	

(2)　術中麻酔管理領域パッケージ研修（6 区分 8 行為）

＊臨地実習は、各行為 5 事例の症例介入が必要となる。

No.	区分	特定行為	研修時間（目安）
1	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口期間チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	9 時間 ＋ 臨地実習(5 症例)
2	呼吸器（人工呼吸器療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	17 時間 ＋ 臨地実習(5 症例)
		人工呼吸器からの離脱	
3	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	13 時間 ＋ 臨地実習(5 症例)
		橈骨動脈ラインの確保	
4	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	11 時間 ＋ 臨地実習(5 症例)
5	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	8 時間 ＋ 臨地実習(5 症例)
6	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	12 時間 ＋ 臨地実習(5 症例)

＊区分別科目は e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストを行う。演習は関連する e-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たすことを確認する。実習（患者に対する実技）は関連する講義・演習・手技練習（模擬患者の活用、シミュレーターの利用等による学習）を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たすことを確認する。実技試験のある科目に関しては、臨地実習（患者に対する実技）の前に

実技試験に合格する必要がある。区分別科目修了試験に合格した後、臨地実習に進む。

5.　研修場所・実習施設

1）e-ラーニングによる講義は、各受講生の事情に合わせて所属施設や自宅等での受講が可能である。演習・実習までに講義の視聴及び確認テストを終了する必要がある。

2）集合教育（演習・実習）は、原則、平日に虎の門病院内の指定された場所で実施するが、内容によってはオンラインでの参加も可とする。

3）共通科目及び区分別科目の修了試験は、虎の門病院内の指定された場所で実施する。

4）臨地実習は自施設で行うことを原則とする。

6.　修了要件

各研修における出席時間数を満たしたうえで、共通科目の評価（筆記試験及び各種実習の観察評価）及び区分別科目の評価（筆記試験、実技試験、各種実習の観察評価）に合格し、当院特定行為研修管理委員会における最終判定をもって修了認定を行う。

なお、本研修修了者には修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出する。

7.　履修の免除

特定行為研修指定研修機関において既に履修した共通科目については当該科目の履修状況を証明する書類の提出により、その時間数の全部又は一部の免除を受けることができる。

＊履修免除を受けようとする場合は、出願時に既修科目履修免除申請書に共通科目の講義修了証又は特定行為研修修了証の写しを添えて申請すること。

8.　受講料

下記受講料の他、再試験が必要となった場合や研修期間内に修了認定が受けられない場合等に追加受講料が発生する場合がある。一旦納付した受講料はいかなる理由があっても返還は不可とする。

科　　目		受講料	
		一般	KKR 職員
共通科目		360,000 円	180,000 円
術中麻酔管理領域パッケージ		460,000 円	230,000 円
区分別科目	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	33,600 円	17,000 円
	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	38,400 円	19,000 円
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	72,000 円	36,000 円
	創傷管理関連	136,000 円	68,000 円

＊研修のための宿泊及び交通費等は各自にて実費負担

9.　受講スケジュール

・4 月 上 旬　　入講式・オリエンテーション
・4 月 ～ 8 月　　共通科目（e-ラーニング、演習・実習）
・8 月 末頃　　共通科目修了試験
・9 月 ～ 10 月　　区分別科目（e-ラーニング、演習・実習）
・10 月 下 旬 頃　　実技試験、区分別科目修了試験
・11 月～翌年 2 月　臨地実習
・3 月　　修了式

Ⅱ．募集要項

1.　受講資格

次の①から③のいずれの要件も満たす看護師であること
① 日本国の看護師免許を有すること
② 看護師免許取得後、通算 5 年以上の看護実務経験を有すること
③ 所属長の推薦を有すること

2.　選考方法

書類審査・筆記試験（フィジカルアセスメントに関する領域）・小論文・面接により行う。

3.　出願期間

令和 8 年 12 月 14 日（月）～令和 9 年 1 月 5 日（火）　＊出願最終日の消印有効

4.　受講審査料

11,000 円（消費税込み）　　＊振込手数料は出願者負担

5.　出願手続き

当院ホームページより以下の申請書類（様式）をダウンロードし必要事項を記載のうえ、A4 封筒（角形 2 号）に入れて出願期間内に郵送または、総合研修センター（総務課）へ平日 9 時から 17 時の間に直接持参する。なお、郵送の場合は配達記録が残る方法（郵便書留等）で送付する。

【提出書類】　＊提出書類の返却は不可
1）受講願書（様式１）
2）履歴書（様式２）
3）志望理由書（様式３）
4）推薦書（様式４）　＊推薦者は看護部長または同等の職位の所属長とする
5）既修得科目履修免除申請書（様式５）　＊対象者のみ
6）看護師免許証の写し　＊A4 サイズに縮小コピーしたもの
7）受講審査料（11,000 円）の振り込みを確認できる書類（利用明細書等）の写し
8）出願チェックリスト

【送付先】
〒105-8470
東京都港区虎ノ門 2-2-2
虎の門病院　総合研修センター（総務課）
電話：03-3588-1111　（代表）
問合せ窓口：　特定行為研修担当事務局（内線 5507）

【受講審査料振込口座】　＊振込手数料は出願者負担
金融機関名：　三井住友銀行　日比谷支店
口座番号　：　普通 0911234
口座名義　：　虎の門病院本口　（トラノモンビョウインホンクチ）
振込依頼人：トクテイ　（氏名）
＊「トクテイ」と氏名の間にスペースを入れる（例：　トクテイ　虎の門花子）

６．　選考試験

試 験 日：令和 9 年 1 月 14 日（木）
会　　場：　虎の門病院
試験内容：　①筆記試験(40 分)　②小論文(60 分)　③面接(15 分)

７．　選考結果

令和 9 年 1 月下旬までに本人宛に郵送する。
＊電話やメールでの合否の問い合わせには対応不可。
＊受講を辞退する場合は、令和 9 年 2 月 26 日（金）までに辞退届を提出すること。

８．　受講手続き

合格者には、合格通知とともに受講手続き書類を送付する。指定の期日までに書類の提出及び受講料の振込みを行うこと。なお、一旦納付した受講料は原則として返還しない。

個人情報の取り扱いについて

「国家公務員共済組合連合会の保有する個人情報の適切な管理のための措置に関する規定」第 12 条に基づく「虎の門病院個人情報保護管理基準」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願および受講手続にあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等の必要な業務において使用させていただきます。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続により開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

アクセス



交通手段

地下鉄日比谷線虎ノ門ヒルズ駅 A2 出口徒歩３分

地下鉄銀座線虎ノ門駅 3 番出口徒歩 6 分

地下鉄南北線溜池山王駅 14 番出口徒歩 6 分

国家公務員共済組合連合虎の門病院

総合研修センター（特定行為研修担当）

〒105-8470

東京都港区虎ノ門 2-2-2

電話：03-3588-1111　（代表）